

地球市民村『茶畑』および『お茶応援団』 概要

<茶畑>

■面 積：約 3000 m²

■育成品種：やぶきた…日本の茶の中で一番多く栽培（日本の全茶園面積の約 76%）されており、香気は新鮮な香りが強く、滋味は優雅で旨味に富む。品種改良の先駆者である杉山彦三郎氏（静岡県）が、明治時代に選抜した品種で、藪跡の開拓地に植えたものの中から 2 株を選び抜き、北側のものを「やぶきた」と名付けた。

めいりよく…「やぶきた」の子供で、芽の伸び、揃いがよく、多収の品種。香気は清涼感があり爽やか。漢字では「茗緑」と書く。茶のことを中国では「茗」（めい）とも言い、品種特有の明るい緑との意味を含めて命名された。

べにふうき…紅茶として優れた品種「べにほまれ」を母親に、ダージリンから導入した系統を父親に配合し、育成された品種。日本で初めて紅茶、半発酵茶兼用の品種として登録された。近年、抗アレルギー作用が認められたメチル化カテキンを多く含む品種として注目され、高機能製茶としての展開が期待されている。

青 新 大 有…青心烏龍と並んで台湾を代表する半発酵茶（包種茶・烏龍茶など）用品種。多収性で、台湾では広く栽培されている。フルーティーな香りで世界的に有名な東方美人（ウンカに加害させて甘い香りを出す高級烏龍茶）などに用いられる。

■育成・運営：愛・地球博／地球市民村 お茶応援団（ちゃえん）

■支援・協力：独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構野菜茶業研究所、静岡県茶業試験場、愛知県農業総合試験場、佐々木製茶株式会社、J A ふうおか八女、J A 宮崎経済連、J A 遠州夢咲農業協同組合、社団法人鹿児島県茶市場、熊本県農政部、倉敷繊維加工株式会社、株式会社みのり、日本オーガニック株式会社、伊豆川飼料株式会社、株式会社寺田製作所、吉口石材店、ハリオグラス株式会社、農業組合法人・旦付製茶組合

<お茶応援団（ちゃえん）>

地球市民村における「茶畑」を実現させるために、地元である静岡県や愛知県をはじめ、全国各地の著名なお茶産地の茶農家、茶専門家の有志が集結し、2003 年 8 月に結成。愛・地球博開幕前の準備段階から会期中の育成を手がけ、その後、地元長久手や名古屋市の方がたも草とりや水やりに参加、茶畑に併設された「和の茶堂」「アジア茶堂」で、来場者にお茶のおもてなしを行うほか、「茶摘み体験」や「手揉みの実演」、「茶の宴」など、お茶に関する様々なイベントを実施。メンバーは約 200 名。リーダーは永田寿美夫氏。

※「和の茶堂」は和風建築。「アジア茶堂」は、お茶の伝播ルートである「ティーロード」の起源といわれる中国雲南省の民族建築をモチーフしている。

■参加産地（県）：静岡県、愛知県、新潟県、福岡県、熊本県、宮崎県、鹿児島県 他